

## 学校だより 12月号

http://www.ama-net.ed.jp/school/E22/

尼崎市立浜田小学校 校長 多田 弘

## いいことはおかげさまわるいことは身から出たさび

先日は「わくわくはまだ美術館」を多くの方々に鑑賞いただき、感謝申し上げます。子ども達は、自分の感じたこと、考えたことを作品で表現しようと時間をかけ、根気強く取り組んできました。私は、はまだっ子一人ひとりの思い、心の中の物語を想像しながら鑑賞しました。鑑賞された皆様には、どの様な思いが伝わったでしょうか。かつて志賀直哉が俵屋宗達(風神雷神図屏風などで有名)の作品を見て、「写実を超えて本質に迫る素晴らしさがある」という意味のことを述べていました。私は、はまだっ子の作品を見ていて、素直さ、夢(希望といってもいいかも知れませんが)という言葉がうかびました。このうかんだ言葉が、作品を通じて表現されたはまだっ子の本質、思いであると私はとらえ、はまだっ子がそれぞれもつ夢、素直な心、それらを大切にしていきたいと感じた図工展でした。

さて、今年ももう12月、残りわずかとなりました。暮れの大きな行事の一つに大掃除があります。大掃除には、普段できないところまで大がかりに掃除をするという意味のほかに、悪い部分や不都合を一掃するという意味もあります。後者の意味合いで、一年間の塵や埃を払い落とし、周囲を清めて新年を迎えるということが、どこの家でも行われています。自身を振り返ると、毎日の忙しい生活の中で心が疲弊(少しオーバーな表現ですね)し、悩みや苦しみなどが重なって、時には怠け心が頭をもたげたり、良くない考えが浮かんだり、ずるい気持ちがよぎったりしそうになります。それらが取り返しのつかないくらいに積み重ならないよう、やはり、私自身も大掃除をする必要がありそうです。

相田みつを氏の言葉に「いいことはおかげさま、わるいことは身から出たさび」という言葉があります。文字通り大掃除をして、ついでに心の塵や埃を払って、いいことがあったらそれは身の回りの人のお陰、悪いことがあったとしたら、それは大部分自分に原因があったから改めるというくらいに謙虚に考え、生きる姿勢を整え、さっぱりした気持ちで新年を迎えたいものです。保護者・地域の皆様、関係者の皆様のおかげさまで、良い締めくくりができそうです。感謝申し上げます。少し早いですが、どうぞよい新年をお迎え下さい。

多くの行事を乗り越えていかなくてはならない2学期。11月は子ども達にも疲れが見えてくる時期です。しかし、5年生の子ども達は、毎日元気に様々なことに前向きに頑張っています。この半年間、5年生は、他学年の見本になれるような、「お互いを高めあえる集団」を目指して頑張ってきました。

1学期当初は、委員会や行事の準備等、学校のリーダーとしての活動が入ってきて、高学年として頑張ろうという意識が伝わってきました。しかし、まだまだ自分のことに精一杯で、周囲のことを意識して行動したり、自分たちで考えて行動したりすることが難しく、戸惑う場面も多くありました。また、自分の意見を主張はするものの、相手の気持ちを受け止めようとする気持ちが足りず、協力して課題に取り組むことが難しかったり、遊びの中でトラブルになってしまったりすることも多くありました。

しかし、2学期になり、自分達から進んで、休み時間に校舎の引っ越しに関わる作業を手伝ってくれたり、朝会や朝のマラソン等の全校の子ども達が集まる場で、他学年の手本になろうという意識を強く持って行動することができたりしています。授業の中でも、教え合ったり、協力して課題を解決したりする場面が多く見られるようになってきました。また、クラスをよりよくするために、自分達でアイデアを出し合うこともできるようになってきました。人間関係の中でも、相手の気持ちを考えたり、自分の意見だけでなく相手の意見も尊重したりしている姿を多く見かけるようになってきています。

2学期も残すところ1ヶ月足らずとなり、学年のまとめの時期に入ってきています。浜田小の最高学年になるのだという自覚を持つこと、「1人よりみんなといるから頑張ることができる」と思える「高めあえる集団」になっていくこと、そして、なにより、全員が笑顔で学校に来ることができることを目標に、全力で取り組んでいきたいと思います。あたたかい見守りと、ご理解ご協力をよろしくお願い致します。

5年担任一同

## 12月の行事予定

